



拝二小だより

～ かけはし ～



昭島市立拝島第二小学校
令和7年9月30日 No.6

スポーツの秋、読書の秋

昭島市立拝島第二小学校
校長 小川 広樹

ようやく夏の暑さが収まり、朝夕は過ごしやすくなってまいりました。残暑がとてもしつかったため、体調管理に気を遣うとともに衣類選びも困ります。児童が元気に学校に通えるよう御家庭でも御配慮をお願いします。

学校では今年度の折り返し点、10月に入ります。子供たちは前半6ヶ月でどのような成長をしてきたでしょうか。残り6ヶ月で年度当初に立てた目標は達成できるでしょうか。達成のためにはどのような積み重ねが必要でしょうか。今一度考えさせてみてください。いつも子供たちに話している、集団生活を送る上で大切な3本柱「挨拶」「時間を守る」「話すのは一人」をしっかりと身に付け、更に自分自身の力を高めてほしいと考えています。得意なことには積極的に取り組み、どんどん力を伸ばしてほしい。苦手なことにも頑張って取り組み、しっかりと基礎力を付けてほしい。このような願いをもち、教職員一同が指導・支援に当たってまいります。

さて、秋を感じるようになりました。様々なことに取り組みやすくなる季節です。「勉強の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」。どのようなことに取り組むでしょうか。子供たちの成長に期待しています。

今年度の拝二ピック（運動会）は10月18日（土）を予定しています。児童のアイデアで企画運営する児童のための体育的行事です。様々な工夫がありますので、ぜひお楽しみにしてください。今年度は芝生を養生し復活させるとともに、子供たちが走りやすくなるように1レーンの幅を120cmに変更しました。会場やテント位置も変更しました。詳しくは別に発出するお知らせを御覧ください。多くの参観者の来校が予想されますので、ぜひ譲り合いの精神をもって御参観くださるようお願いいたします。

また、様々な活動に適した「秋」の季節、ぜひ読書にも親しませてください。文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査の結果によると、読書をする児童は、読書をしない児童よりも正答率が高いことが分かっています。読書は心の栄養とも言われます。知識を蓄えるだけでなく、想像力を豊かにし、人間性が深まります。今の時代だからこそ本を読む力の大切さを考えましょう。読書で得られる効果を七つ御紹介します。（学研のホームページより引用）

- ① 会話力や文章力の向上 ②ボキャブラリー（語彙）が増える ③教養や知識が身に付く
- ④想像力が豊かになる ⑤アイデアが得られる
- ⑥いろいろな話題を話せる ⑦ストレス解消

読書の効果を高めるコツ

- ① 目標を立てる ②繰り返し読む ③メモを取る

読書好きの子供を育てるのは難しい時代だと感じますが、テレビやスマホ、電子機器から一度離れ、親子で読書タイムを設定してみるのも一つの方法です。ぜひこの秋の季節にはお気に入りの本を見付け、親子の話題にしてみてください。

市内でも感染症が発生しています。手洗い、うがい、マスク、消毒など予防に努めてください。



お知らせ



の生活目標

「時間を守って生活しよう」

御家庭では、時間を意識して生活していますか？学校では「教育の場」や「集団生活の場」ということで、時間を特に意識させています。今月は「なぜ守る必要があるのか」をしっかりと考えさせ、納得した上で時間を守らせていきます。御家庭でも「時間」について話し合い、時計をよく見て行動する月にしてください。

令和7年度 拝二ピック スローガン

挑戦しよう！団結しよう！

最後まで楽しむ拝二ピック

拝二ピック参観について

拝二ピック参観の際は、必ず学年色のPTA名札カードをお持ちください。

西門で受付を行い、名札カードを見えるように首から下げて入場してください。